

# 終わらない人道危機 と「保護する責任」 —日本には何ができるのか—

**2022年2月18日（金） 15:30-17:00開催**

「保護する責任」が提唱されて20年、日本では「保護する責任」=強制的な軍事介入と捉えて議論が抑制されてきました。しかし、日本が重視する「人間の安全保障」も、「保護する責任」と共通する部分を有しています。世界で深刻な人道危機が増加している現在、「保護する責任」を真剣に捉え、議論を活性化し、理解を深めることが求められています。

## ▶ プログラム

**15:30-15:45 開催の挨拶**

星野俊也 大阪大学大学院国際公共政策研究科教授（元国際連合日本政府代表部大使）  
ノエル・モラダ クイーンズランド大学・保護する責任アジア太平洋センター  
地域外交・能力構築部門代表

**15:45-17:00 報告・質疑応答**

### 「感染症、軍事紛争、飢餓：人々を保護する責任の再認識」

東大作 上智大学グローバル教育センター教授・上智大学国際関係研究所所員

### 「人権分野のフィールドオペレーションと保護する責任」

滝澤美佐子 桜美林大学リベラルアーツ学群教授

コメント：植木安弘 上智大学グローバル・スタディーズ研究科国際協力学専攻教授  
上智大学国際関係研究所所員

モデレーター：中内政貴 上智大学総合グローバル学部准教授  
上智大学国際関係研究所所員

- ▶ **対象**：学生、教職員、一般の方
- ▶ **登録方法**：オンライン（Zoom ウェビナー）
- ▶ **要事前登録**：<https://eipro.jp/sophia/events/view/SIIR20220218>



**主催** The Asia Pacific Centre of the Responsibility to Protect (APR2P)

上智大学国際関係研究所（SIIR）、The R2P Network of Japan

**後援** 早稲田大学地域・地域間研究機構アジア・ヒューマン・コミュニティ（AHC）研究所

上智大学研究プロジェクト「アジアの人道危機と保護する責任」